



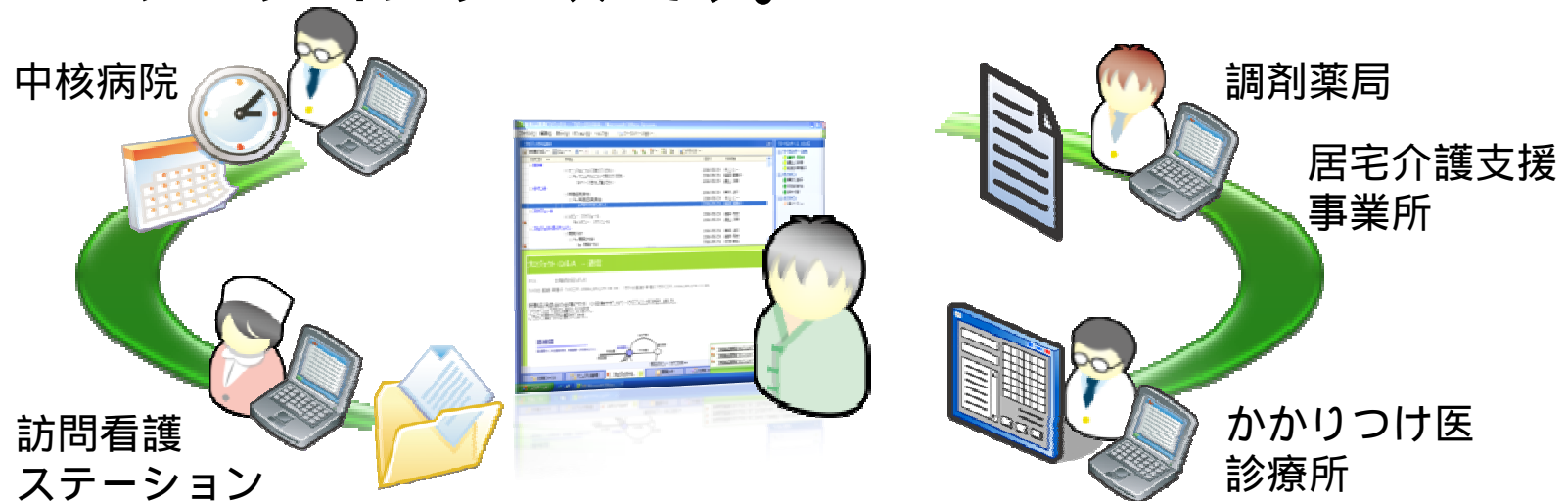
Microsoft SharePoint Workspaceによる地域連携パス情報共有ツール

## 地域連携パスオンラインシステム概要

京都府リハビリテーション連絡協議会  
(協力：株式会社ストローハット)

# Microsoft SharePoint Workspaceとは？

- ▶ 『Microsoft SharePoint Workspace 2010』は、**サーバーや専用のネットワークを必要としない**、情報共有・コミュニケーションツールです。



インターネット上にセキュリティの保たれた仮想ネットワークを構築し、医療情報の共有・コミュニケーションが可能なツールです。

『Microsoft Office Groove 2007』が、Officeのバージョンが2010になったことで、『Microsoft SharePoint Workspace 2010』という製品名に変わりました。

# SharePoint Workspaceの特徴

---

## ▶ サーバーが不要

- ▶ Peer To Peer技術による、サーバーを必要としないシステム構成により、導入コストを抑えた情報共有が実現できます。
  - ▶ Peer To Peerとは同じワークスペース内のコンピュータが、お互いにファイルを共有し合う仕組みです。
  - ▶ SharePointが情報の交通整理を行いますので、オンラインになると自動的にファイルの同期を行い、更新情報を教えてくれます。

## ▶ 強固なセキュリティにより、安全な情報共有が可能

- ▶ 192bitの強固な暗号化をSharePointが自動的に付加しますので、インターネット接続環境上でも、安全な情報共有が実現できます。
  - ▶ 192bitの暗号化には、通常は高価な暗号化ソフトが必要となりますが、SharePointはもともとその水準の暗号化レベルを有したソフトです。

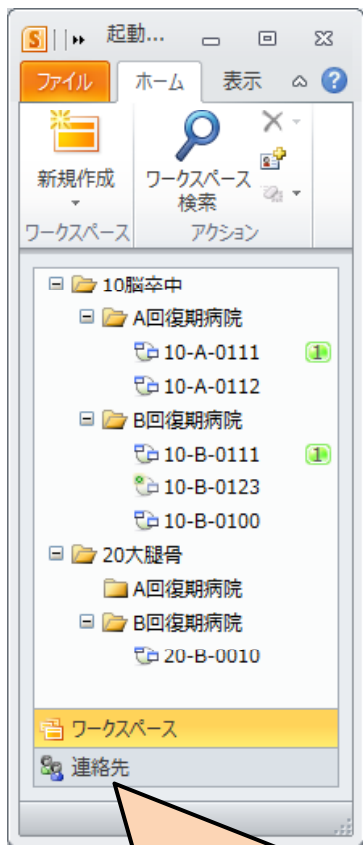
## ▶ オフィス製品のわかりやすいインターフェース

- ▶ オフィス製品のわかりやすいインターフェースのソフトなので、スムーズな利用開始が期待できます。
  - ▶ 様々なPCスキルの現場スタッフの利用が想定されますが、一般的なオフィス製品なので使いやすく、導入がスムーズです。

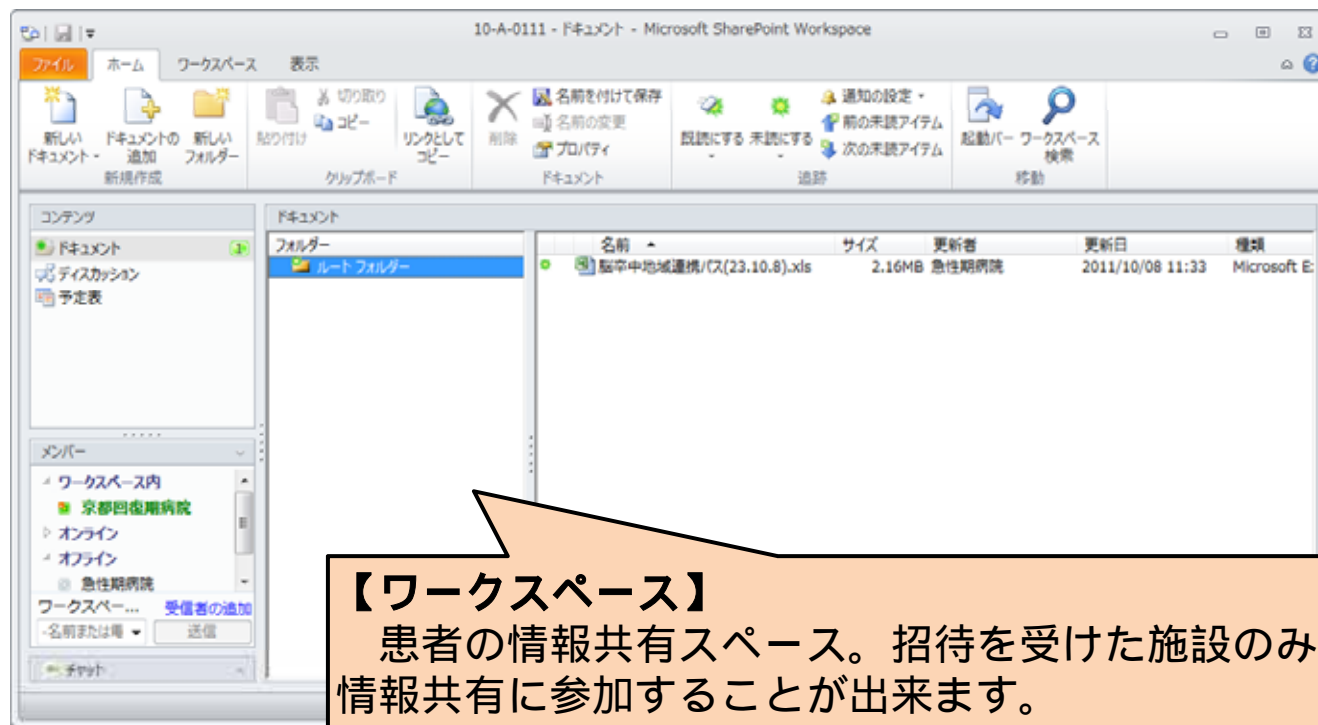


# SharePoint Workspaceの画面説明

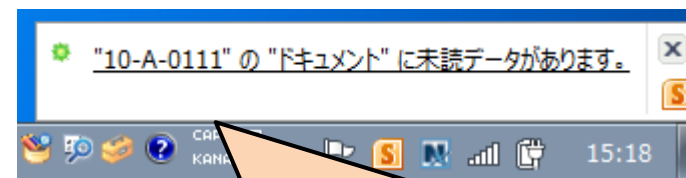
## 起動バー・ワークスペース・ポップアップ



**【起動バー】**  
最初に開く画面。自院が連携している患者の一覧画面です。ここから患者のワークスペースを開きます。



**【ワークスペース】**  
患者の情報共有スペース。招待を受けた施設のみが情報共有に参加することができます。



**【ポップアップ】**  
未読ファイルがあることやメッセージ、招待の受信など、重要な情報は必ずポップアップ表示されます。

# SharePoint Workspaceの画面説明 ワークスペース

The screenshot shows the Microsoft SharePoint Workspace interface. The main window displays a file list with columns for Name, Size, Type, Last Modified, and Modified By. The interface includes a ribbon with various tools, a left-hand navigation pane, a member list, a chat window, and a notification bar at the bottom.

**各種ツールで  
コラボレーションを支援**

**各種データを扱う  
フォームやフォルダ**

**メンバーの  
プレゼンス情報**

**アラートによる  
最新情報の通知**

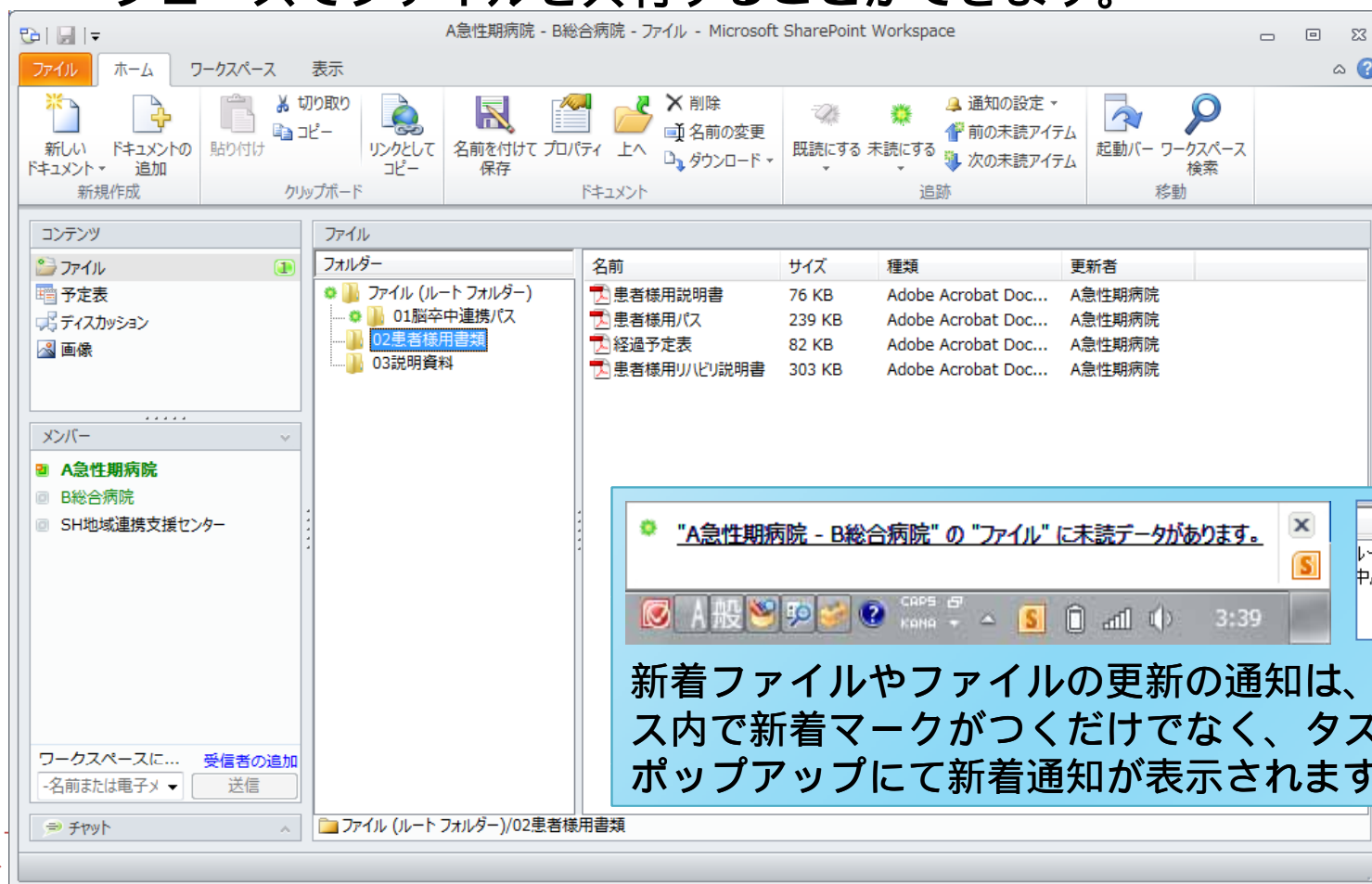
**状況に応じた各種コミュニ  
ケーションツールを提供**

名前	サイズ	種類	更新日	更新者
患者様用説明書	76 KB	Adobe Acrobat Doc...	2010/07/22 16:1...	A急性期
患者様用パス	239 KB	Adobe Acrobat Doc...	2010/07/22 16:2...	A急性期
経過予定表	82 KB	Adobe Acrobat Doc...	2010/07/22 16:2...	A急性期
患者様用リハビリ説明書	303 KB	Adobe Acrobat Doc...	2010/07/22 16:2...	A急性期

Notification: "A急性期病院 - B総合病院" の "ファイル" に未読データがあります。

# SharePoint Workspace標準ツール ファイル共有フォルダ

- ▶ 地域で共有したい様々なファイルを共有することができます。
  - ▶ 通常のパソコンやサーバー上でのファイル共有と変わらないインターフェイスでファイルを共有することができます。



新着ファイルやファイルの更新の通知は、ワークスペース内で新着マークがつくだけでなく、タスクメニューにもポップアップにて新着通知が表示されます。



# ワークスペースへの参加 ~ 招待による情報共有の開始 ~

計画管理病院  
(急性期病院)

連携病院  
(回復期・維持期病院)

第三段階  
(保健医療機関・  
介護老人保健施設等)

## Step 1 : ワークスペースの作成

計画管理病院において患者の情報を共有するワークスペースを作成します。



ワークスペース



## Step 2 : メンバーの招待

計画管理病院から連携病院へ招待状を送り、患者情報の共有を開始させます。



ワークスペース

招待



招待状



## Step 3 : ワークスペースの複製

連携病院が招待を承諾すると、ワークスペースがダウンロードされ、複製されます。



ワークスペース

ダウンロード



ワークスペース



## Step 4 : 情報の同期

ワークスペース上では、それぞれの病院でのファイルの追加や削除等の更新が、随時同期され、相手に変更が伝わります。



ワークスペース

情報の同期



ワークスペース



今回は計画管理病院と連携病院間との間のオンライン化となりますので、以下は未対応です。

## Step 5 : メンバーの追加招待 ワークスペースの複製

同様の手順で第三段階も招待・複製されます。



ワークスペース

招待



招待状

ダウンロード

ワークスペース

## Step 6 : ワークスペースの複製

SharePointでは紹介状のやりとり同様の手順で、情報共有ワークスペースへの参加ができます。



ワークスペース



ワークスペース



ワークスペース



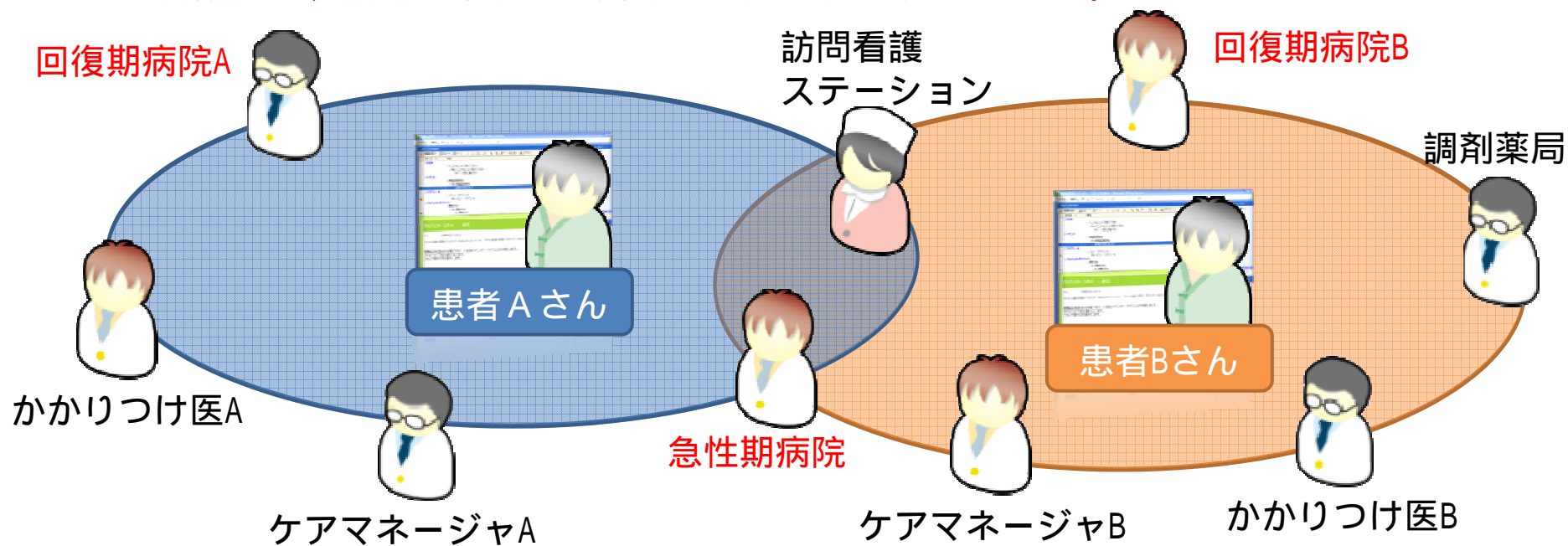
参加メンバーすべてのワークスペースが同期される

# ワークスペースについて

## 患者ワークスペースの仕組み

- ▶ **ワークスペースはひとりの患者ごとに作成します。**
  - ▶ ワークスペース内の情報は、そのワークスペースに招待され参加したメンバーのみが閲覧・更新することができます。
  - ▶ したがって、患者ごとにワークスペースを作成し、患者にかかわる医療スタッフが参加します。

現段階では、計画管理病院と連携病院との間のみの対応となります。





# 業務の流れ

## 計画管理病院(急性期)～連携病院(回復・維持期)との連携

### ▶ パス開始～ワークスペース作成

- ▶ 計画管理病院(急性期)で患者ワークスペースを作成。
- ▶ 予め必要なファイル(未記入)が保存されています。
  - ▶ 地域連携パスExcelファイル
  - ▶ その他のパス運用・説明資料等

日常業務における運用は、通常のパソコンのExcelを利用するのと同様に、以下のとおりワークスペース内のファイルを更新することで、そのまま施設間で情報共有することができます。

### ▶ 計画管理病院から連携病院(回復期・維持期)への早期紹介

- ▶ 計画管理病院で以下のファイルを更新。
  - ▶ 地域連携パスExcelファイル  
(基本情報シート、急性期各シート等)
- ▶ 連携病院(回復期・維持期)を招待します。

連携病院で新しい地域連携パス患者の紹介の発生及びその患者の状態を把握できる

### ▶ 計画管理病院から連携病院への転院時

- ▶ 計画管理病院で以下のファイルを更新。
  - ▶ 地域連携パスExcelファイル  
(基本情報シート、急性期各シート等)

連携病院で転院前の患者の情報が更新されたことを把握できる

### ▶ 連携病院におけるリハビリの中で

- ▶ 連携病院で以下のファイルを更新。
  - ▶ 地域連携パスExcelファイル  
(基本情報シート、回復期各シート等)

計画管理病院で転院後の患者の情報(リハビリ状況等)を把握できる

### ▶ 連携病院からの退院・転院時

- ▶ 以下のファイルを更新し、退院後の診療を担う医療機関・施設へ情報提供
  - ▶ 地域連携パスExcelファイル  
(基本情報シート、回復期各シート、スタッフ用パス等)

計画管理病院で連携病院を退院する時点の患者の状態等を把握できる



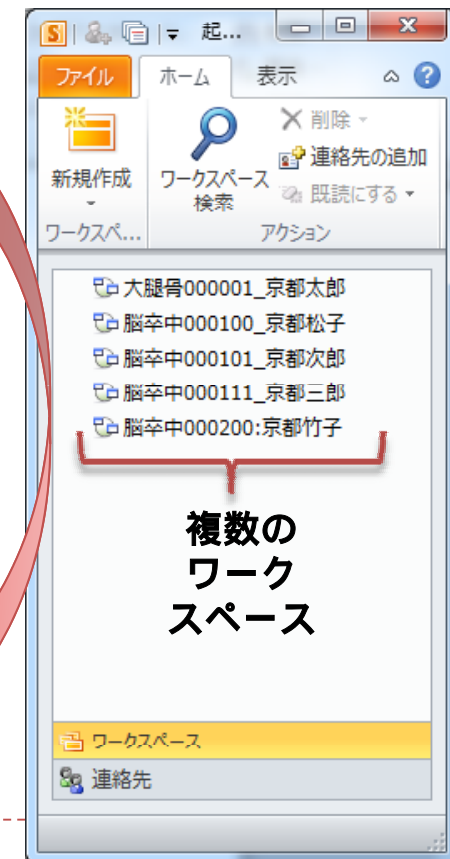
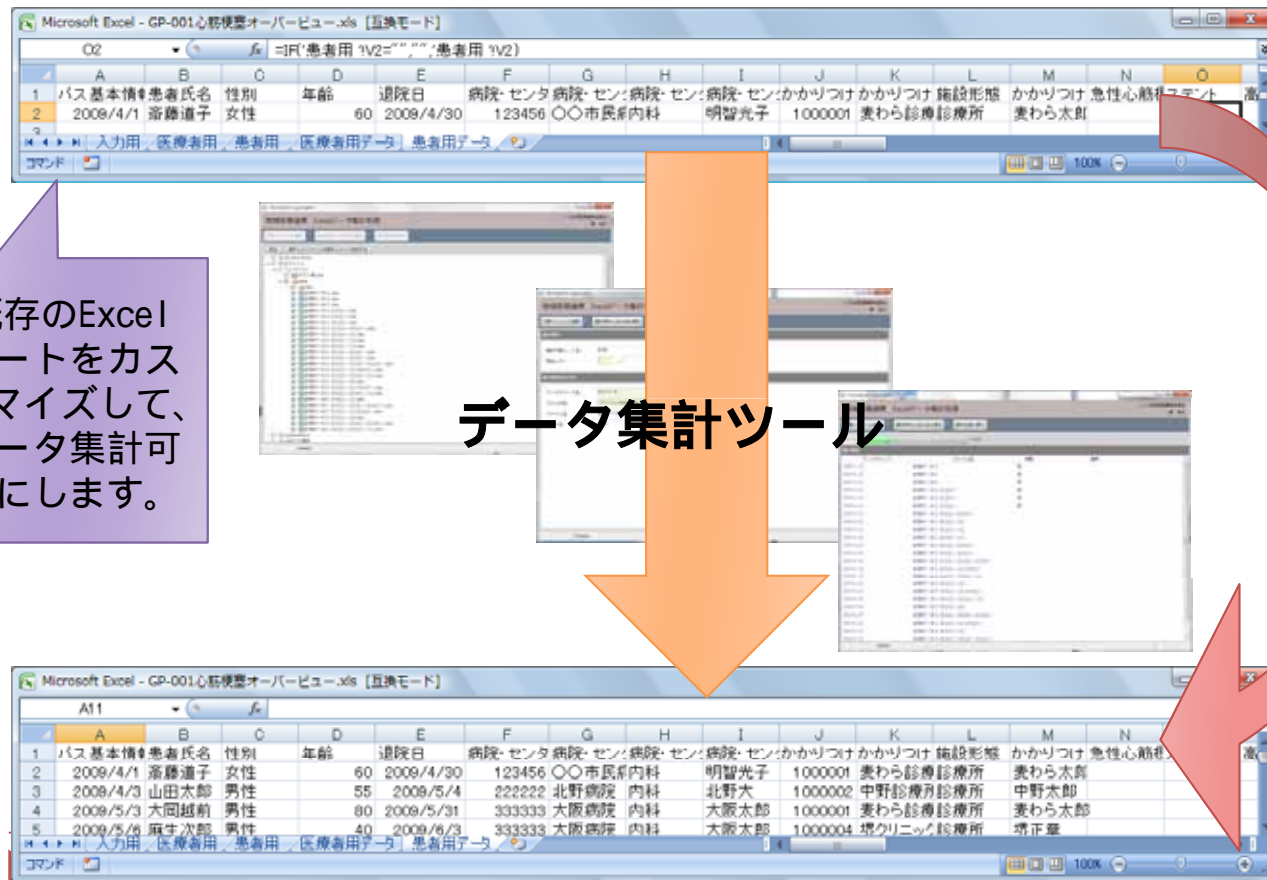
# データ管理ツール : データ集計

## SharePoint Workspace DataGather

- ▶ 複数のワークスペースに存在するパスデータをひとつにまとめて集計することができます。
- ▶ スケジュール機能による定期的な自動集計と、データ集計ツールを起動して手動で集計を実行をすることが可能です。

既存のExcelシートをカスタマイズして、データ集計可能にします。

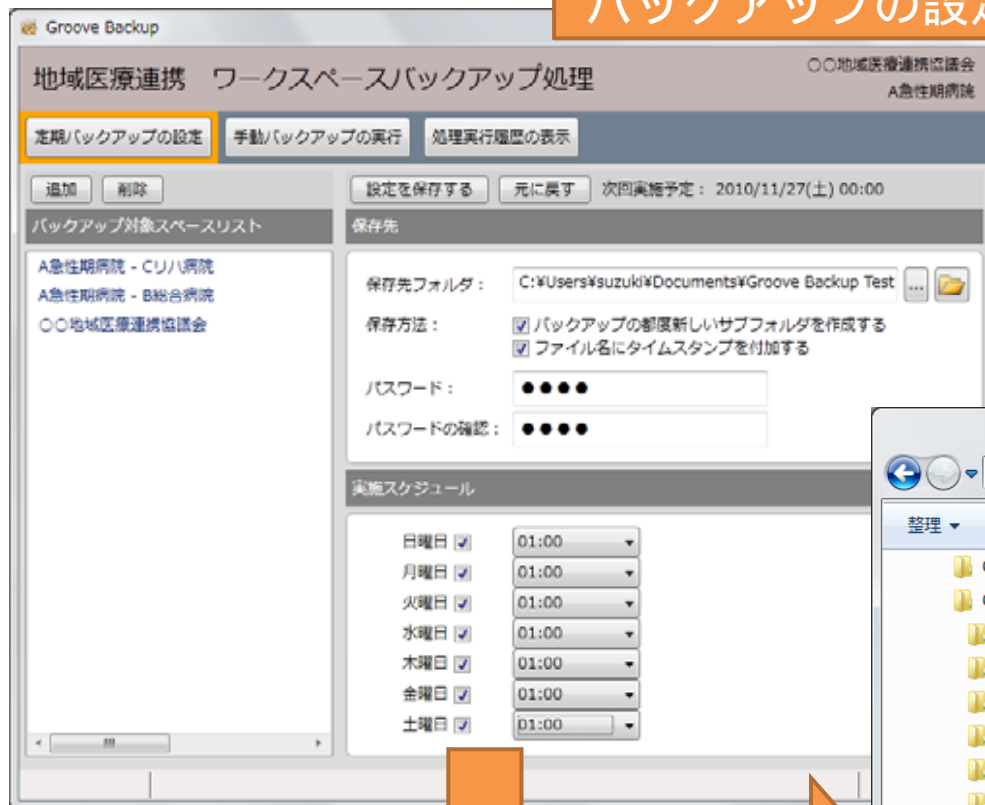
データ集計ツール



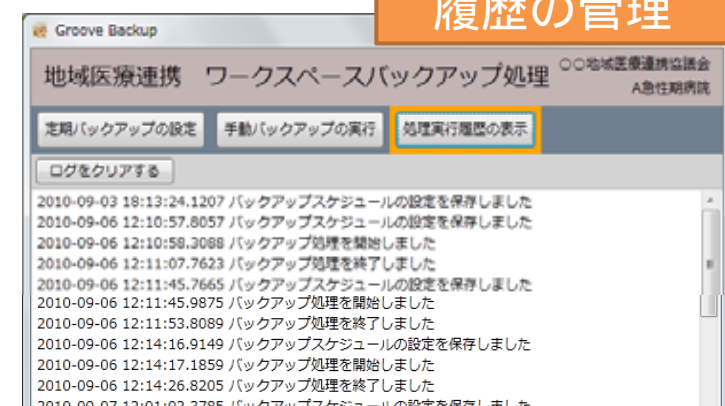
# データ管理ツール : バックアップ SharePoint Workspace Backup

- ▶ 計画管理病院では、予めスケジュールを設定することで、定期的に複数のワークスペースのバックアップをとることができます。

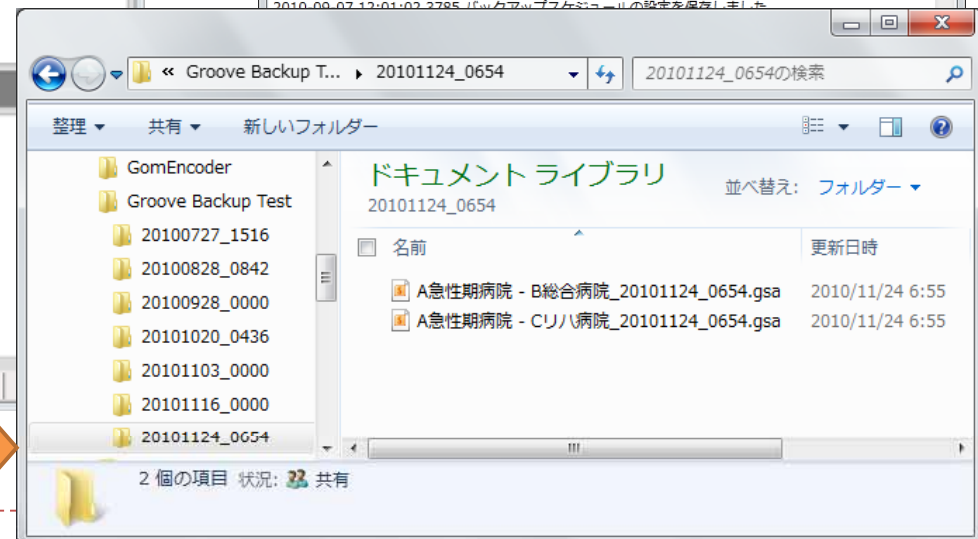
## バックアップの設定



## 履歴の管理



## スケジュール実行



# SharePointの標準ツール

時間をかけずに  
共同作業を  
スタートできる  
標準ツール群

## ファイル

チーム内で作成する  
ドキュメントを保管  
することができます



## ディスカッション

Q & A や、お知らせ、  
協議事項について協議  
できる掲示板機能です



## 予定表

カンファランスや研究  
会といったチームの  
スケジュールを共有



## メモ帳

テキストベースで  
自由にアイデアを記  
入できるツール



## スケッチパッド

スケッチの共有や、  
シェーマとしても使  
えるお絵かきツール。



## 会議

出席者や、議事録  
など会議情報の管理



## 案件管理

チーム内での協議事項  
や、簡単なクリティカ  
ルパスにも利用できる



# 導入システム

---

## ▶ 計画管理病院（急性期）

- ▶ パソコン本体
- ▶ 外付けハードディスク
- ▶ Microsoft Office 2010（Excel・Word含む）
- ▶ Microsoft SharePoint Workspace 2010
- ▶ セキュア対応USBメモリ
- ▶ ウィルス対策ソフト
- ▶ バックアップツール
- ▶ 集計ツール

## ▶ 連携病院（回復期・維持期）

- ▶ パソコン本体
  - ▶ Microsoft Office 2010（Excel・Word含む）
  - ▶ Microsoft SharePoint Workspace 2010
  - ▶ セキュア対応USBメモリ
  - ▶ ウィルス対策ソフト
- 





## 地域連携パスシステム専用パソコンの導入

---

- ▶ **高いセキュリティを保つため、地域連携パス専用のパソコンを導入します。**
  - ▶ 地域連携パス以外の利用は行わない。
  - ▶ 指定のUSB以外は利用不可とする(セキュア対応USBの導入)。
  - ▶ ログインパスワードは厳格に管理。
  - ▶ 地域連携室・外来・病棟等のスペースを考慮し、ノートパソコンを利用。
  - ▶ ウィルス対策ソフトを導入しデータベースを最新に保つ。
  - ▶ 計画管理病院には、バックアップツール・集計ツールを導入する。
  - ▶ 計画管理病院には、バックアップ機器として外付けハードディスクドライブを導入する。
  - ▶ インターネット接続環境は各病院で準備。



# 連携パスExcelシート

## Excel2000以上で利用することが出来ます

▶ 共通情報、急性期病院、回復期病院等、各職種ごとに入力可能となった新しい地域連携パスシートは、Excel 2000から2010までの複数のバージョンで利用可能です。

- ▶ 基本情報
- ▶ オーバービュー
- ▶ 急性期医師
- ▶ 急性期薬剤
- ▶ 急性期看護師
- ▶ 急性期リハビリ
- ▶ 急性期MSW
- ▶ 急性期摂食嚥下
- ▶ 回復期医師
- ▶ 回復期薬剤
- ▶ 回復期看護師
- ▶ 回復期リハビリ
- ▶ 回復期MSW
- ▶ 回復期摂食嚥下
- ▶ 生活期医師
- ▶ スタッフ用パス
- ▶ 患者用パス
- ▶ ADL
- ▶ FIM
- ▶ 長谷川式

★脳卒中地域連携パス(H24.1)10\_20120116\_2.xls [共有] [互換モード] - Microsoft Excel

ファイル ホーム 挿入 パネルリAYOUT 数式 データ 校閲 表示 開発 ロードテスト テーマ

AC8

象牙色 ※7/A報告に必要な項目です。

自動入力箇所です。直接の入力はできません。

平成24年1月26日 脳卒中地域連携パス 京都府医師会

番号	10-	患者氏名	生年月日	年齢	性
住所	〒 1234567	#N/A			
診断名	脳梗塞	病型	発症年月日	保険算定	
治療	脳動脈瘤塞栓術	治療年月日			
基本情報	急性期施設名		Tel	入院年月日	担当者
			fax	退院年月日	担当者
	回復期施設名		Tel	入院年月日	担当者
			fax	退院年月日	担当者
	生活期施設名		Tel	受診年月日	担当者
			fax		

基本情報 連携施設マスタ オーバービュー 急性期医師 急性期薬剤 急性期看護師 急性期リハビリ

コマンド

85%

- ログイン認証によるセキュリティ設定
- プルダウンメニューの実装による使い勝手の改善
- dataシートによる集計の実現

ログインした医療機関（計画管理病院、連携病院）により、編集可能なシートを制御します。